

有志ノ輩ノ寄附ヲ許シ其処分ハ大坂府ヘ委任
セントノ旨其省ノ意見如何ト下問アリ是ニ於
テ有志ノ輩寄附ノ儀ハ異見ナレト雖モ難波村
倉廩ハ當省必用ノ地ニレテ現ニ蓄積ノ米穀モ
之レ有ルニ由リ右遷座地所ハ更ニ詮議ヲ要ス
ト上陳セリ
十二月二
十七日

大藏省考課狀

學校教師生徒及ヒ病院雇入外國人ノ部

明治六年十月ヨリ
十二月ニ至ル

目次

第一號

高知縣ヨリ同縣貫屬伊賀陽太郎外一人學資

金上納ノ申牒

第二號

正院ヘ英人「エール子スト、エー、メーソン」雇入
ノ儀ニ付稟議

第三號

租稅寮へ米英留學生徒學資金ノ儀ニ付達旨

第四號

長崎縣ヨリ舊平戸縣士族高瀬仲官費月俸金ノ儀ニ付稟候

第五號

足柄縣ヨリ管下大住郡平塚驛盲人府川謙齋外國留學生徒へ隨行願ノ儀ニ付稟候

第六號

京都府ヨリ外國人雇繼ノ儀申牒

第七號

度會縣ヨリ病院設立ノ儀ニ付稟候

第八號

神奈川縣ヨリ雇入英人「ヲスポル」増給ノ儀ニ付稟候

第九號

外務省ヨリ雇入教師米國人「ペーントン」ジョウドニ雇繼ノ儀ニ付商議

第十號

新川縣ヨリ小學校建設ノ儀ニ付申牒

第十一號

佐賀縣ヨリ巖原太平寺修繕料、儀ニ付稟候

第十二號

茨城縣ヨリ舊水戸縣大坂兵學寮生徒費金下
付ノ儀ニ付稟候

第十三號

嶋根縣ヨリ小學校設立ニ付舊權令神山郡廉
外二名ヨリ書籍寄附ノ申牒

第十四號

神奈川縣ヨリ英人「フスポル」雇繼ノ儀ニ付

稟候

第十五號

雇米人「ジョルジ・ピウナルリアムス」へ統計寮
事務依頼ノ達旨

大藏省考課狀

明治六年十月ヨリ
十二月ニ至ル

大藏省考課狀

學校教師生徒及ヒ病院雇入外國人ノ部

明治六年十月ヨリ
十二月ニ至ル

第一號

高知縣ヨリ當縣貫屬伊賀陽太郎外一人學國留
學資金一人ニ付千兩宛官費ヲ以テ支給セシニ
付昨壬申年各家祿ノ内百五拾石宛年々上納ス
ヘキノ布達ニ由リ辛未年分二人ノ家祿合セテ
三百石壹石ニ付金四圓貳拾五錢替ヲ以テ上納
セント申牒セリ因テ伊賀陽太郎外一人留學資

考課狀

大藏省

金千貳百七拾五圓早々出納寮へ上納ス可シト

指令セリ 八月十日
四日追加

第二號

正院へ此回在留英人「エール子スト、エー、メーソ」
ニ當省へ雇入下等書記申付從來所藏ノ洋書記
録及ヒ外國往復ノ文書其他諸洋籍ノ審査筆記
等ヲ擔當セシメ度ニ付允許ヲ得ント別紙同人
へノ達旨案ヲ副へテ稟議セリ乃チ正院ヨリ候
スル所ノ如クス可キ旨指令セリ 十月
三日

第三號

租稅寮へ舊勸農寮派出ノ米英留學生徒學資金
及ヒ航海入費旅費等ハ同寮資本金ノ内ヲ以テ
支給ス可キ筈ニ付從前出納寮等ニ於テ兌換シ
タル分ハ總テ右資本金ノ内ヨリ返納方取計ツ
可ク且向後ノ學資ハ時々其寮ヨリ支給ス可シ
ト達旨セリ 十月十日
二日

第四號

長崎縣ヨリ當縣貫屬舊平戸縣士族高瀬仲幸未
年東京ニ於テ同縣大參事松浦信順ノ許可ヲ以
テ官費生徒タリシニ壬申年合縣諸書類當縣へ

引渡ノ際同人姓名書落シ且其月俸金ノ支給不足有之所幸未出納ハ既ニ計算齋ニテ今日ニ至リ如何トモ追給スルノ術モ無之ニ付右月俸金差引殘貳拾七圓七拾五錢別途ニ下付ヲ請フト別紙松浦信順答書及ヒ舊官員右調洩シ疎漏ノ故ヲ以テ差出セシ進退伺書等ヲ副ヘテ稟候セリ因テ右ハ文部省ヨリ下付ス可キ筈ニ付同省ヘ受取方申出ヘシト指令セリ
十月三十一日

第五號

足柄縣ヨリ管下相模國大住郡平塚驛農府川政

吉二男謙齋儀素ト盲人ニテ按摩鍼術等ヲ以テ糊口セシニ當今開化進步ノ盛時ニ感シ身分相應ノ事業ヲ立國恩ニ報ント憤發ノ折柄海外諸國ニ於テハ哑院盲院等ノ教場アルヲ領知セシヨリ外國留學生徒ヘ隨行セントノ旨ヲ懇願シ其志意憐ム可キニ付高裁ヲ仰クト同人願書ヲ副ヘ稟候セリ因テ謙齋盲目ノ身分トシテ海外修業ノ儀聴取シ難キ筋ニ付其情實ノ愍然神妙ノ旨ハ篤ト申諭ス可シト指令セリ
十一月十七日

第六號

吉二男謙齋

大藏省

京都府ヨリ當府勸業場産業基金ノ内ヨリ一
ヶ月百五拾圓ノ給ヲ以テ同場雇入米利堅人「
エームスオースタインウヰル」ト當明治六年十
一月三十一日満期ニ付來明治七年四月三十日
迄六箇月雇繼免狀ヲ外務省ヘ申請セル旨申牒
セリ
十一月
九日

第七號

度會縣ヨリ當縣管下從來良醫ニ乏キニ由リ患
者救濟ノ為メ相應ノ醫員雇入病院ヲ設立セン
ト獎勵スト云ヘ凡方今學校設立ノ際民費勸力

ラサルニ付病院ノ費用ハ其力ニ及ビ難ク去迎
病院ハ民生至要ニ付游女藝妓及ヒ貸坐敷渡世
且俳優雜劇ノ者ヘ鑑札下付取立税金及ヒ手数
料等ヲ以テ年々病院ノ費用ニ充テ當管下山田
街ヘ病院設立セントスルニ由リ許可ヲ得ント
稟候セリ因テ候スル所聴取スト指令セリ
十一月
十日

第八號

神奈川縣ヨリ當縣雇入英人「ラスポル」給料増
方ノ儀再應ノ稟候許可ヲ得サルニ付其旨申諭

セシニ此回同人ヨリ出願ノ旨モ之レ有リ元來
同人儀ハ人ト為リ正直温和ニシテ英佛獨及ヒ
皇國語ニ通シ翻譯通辨等他ノ雇入英人佛人等
ノ比ニ非ス實ニ不相當ノ給ニ付金五拾圓増加
ヲ乞フト同人願書ヲ副ヘテ稟候セリ因テ此旨
正院へ稟議ヲ經許可ヲ得テ候スル所聴取セル
ニ付更ニ條約書取調差出ス可シト指令セリ
十月十七日

第九號

外務省ヨリ英佛語學教師「トントンジョウトン

儀給料一箇月三百圓ヲ以テ雇入レ爾後全三箇
年餘奉務現効モ有之ニ付給料五拾圓ヲ増加シ
本年六月二十二日ヨリ更ニ雇繼ノ儀正院稟議
濟ノ旨ヲ達スルト稟議書及ビ正院指令寫本ヲ
副ヘテ商議セリ十一月二十二日

第十號

新川縣ヨリ當縣管下小學校興隆ノ儀春來着手
セシニ郡民大ニ奮起舉テ協議シ當五月ニ至リ
既ニ五拾余校設立セリ此氣勢ニ乘シ今一層振
起セシメント欲スルニ付區戸長等へ集議シ方

今民カヲ計リ年々凡金三萬圓ヲ賦課シ學資ト
定メ三百余校ヲ設ルノ見込ニテ文部省指令ヲ
受ケ施為セリト其中小學區分方法書及ヒ表ヲ
副ヘテ申牒セリ因テ學校費用ノ儀有志輩協力
出金ハ格別ナレ凡舊石高ハ賦課スル等アラハ
地租改正ノ際自然民心ニ關係少カラサルニ付
廢止ス可ク右ノ趣意厚ク斟酌シ都テ民情ニ悖
サルヲ要シ注意ス可シト指令セリ
十一月二
十七日

第十一號

佐賀縣ヨリ向キニ對馬全國ヲ長崎縣ヘ引渡ノ

際兵備分營所ノ都合ニ寄リ巖原學校ヲ同所太
平寺ヘ一時轉校其後廢校ニテ寺内其他修繕セ
シニ右費用ハ長崎縣所轄地ノ故ヲ以テ同縣ヨ
リ支給ス可キヲ最初土地引渡ノ際轉校事實申
送ラサルヨリ當縣ノ支給タル可キ旨照管ニ付
テハ學校ハ素ト巖原藩ニ於テ公費ヲ以テ取設
シ末ニ付右費用モ同藩學費ノ内ヨリ支給ス可
キニ既ニ辛未年以來諸勘定組決算ノ上ハ下付
ス可キ資本之レ無キニ付官給ヲ乞フト長崎縣
照管書及太平寺修繕願書ヲ副ヘテ稟候セリ因

テ右ハ學費ニ屬スル儀ニ付文部省へ申立可シ
ト指令セリ
十二月
七日

第十二號

茨城縣ヨリ舊水戸縣大坂兵學寮生徒鈴木魁介
外二名へ給與金庚午年未納ノ分陸軍省へ上納
ス可キ旨同省ヨリ照管アルト云へ凡同縣庚午
諸勘定決算ニ付別途下付ヲ得ハ壬申年十一
兩月勘定元拂ニ立計算仕上取計ハント別冊仕
譯書ヲ副ヘテ稟候セリ因テ官費金六拾八圓下
付ス可キニ由リ請取方申出可シ尤勘定仕上ノ

儀ハ候スル所ノ如クス可シト指令セリ
十二月
十二日

第十三號

嶋根縣ヨリ管下小學校設立ニ付舊權令神山郡
廉外二名ヨリ書籍日本王代一覽三十五部及ヒ
啓蒙手習ノ文三十五部等其他合計二百三十二
部寄附セリト其書目ヲ副ヘテ申牒セリ因テ右
書籍代價ヲ審査シ更ニ上申スヘシト指令セリ

十二月
十二日

第十四號

神奈川縣ヨリ當縣雇入英人「ヲスポル」月五拾

圓ヲ増給シ去ル五月ヨリ以往一箇年更ニ雇繼
ント稟候再三ニ及ヒ許可ヲ得ス九月ニ至リ本
人ヨリ事情止ムヲ得サル儀ヲ懇願セルニ付重
テ稟候十一月十七日候スル所ノ如ク允許ヲ得
タルヲ以テ允許ヲ得ルノ日ヨリ数ヲ起シ十一
月十七日ヨリ向一箇年月貳百五拾圓ノ給ヲ以
テ更ニ雇繼條約取結ヒ度尤同人ヘノ書翰文中
ニ條約箇條ヲ書加ヘ受職承引ノ證書取置可キ
見込ヲ以テ決定セント別紙書翰中十箇條約言
ヲ副ヘテ稟候セリ因テ此旨正院ヘ稟議ノ末候

スル所余儀ナキ次第ニ付書面ノ如ク取計ヒ受
職承引ノ證書寫差出ス可シト指令セリ
第十五號
十二月二十五日

雇米人「ジオルジ・ビ・ウィルリアムス」ヘ為換法及
ヒ内國收稅輸入出稅其他一切理財ノ事務顧問
ノ為メ千八百七十二年第三月雇入レシヨリ職
務勵精何ソ嘉賞ニ堪ン抑統計寮ノ事務タルヤ
多岐煩冗廢藩立縣以後未タ整頓ニ至リ難キニ
付以往一層盡力アラント望ム英米兩國ニ於
テ施行セル現今ノ方法我國情ニ適スルモノハ

逐件採用スヘキニ由リ願クハ同寮事務速力ニ
調査整頓スヘキ旨ヲ達セリ十月三十一日追加

大藏省考課狀

會社ノ部

明治六年十月ヨリ
十二月ニ至ル

第一號

千葉縣ヨリ茨城縣士族平山清直外一名農馬
會社設立ノ儀ニ付稟報

第二號

東京府ヨリ府下諸商業ニ付布達方ノ儀稟候
第三號

神奈川縣ヨリ横濱商大倉喜八郎エセントノ
儀申請ニ由リ稟候